

議案—5. 平成27年度 活動計画 (案)

今年は、前年から引き継ぐ「子ども（学校）支援活動」と「防災・防犯活動」の二つに加え、市原市が推進する「安心生活見守り支援事業」を加えた三テーマを中心とした活動を推進することとします。

これを実現するため会員相互の連携を深め、地域の人々の一層の協力を得て、笑顔の活動を通して、一步一步着実に前進したいと思います

1. 子どもたちを支え見守ろう！（子ども支援部）

子ども（学校）支援と防犯・防災活動の二本柱は今年度も継続します。
また、ボランティア活動については、絶対無理せずに「PTA 活動支援」も「廃品回収」も地域と共に考えるべきだと思ふ。もう一点、昨年、発議のあった「安心生活見守り支援事業」については、担当部署を開設して全員で取り組む必要があり、当然子ども支援部も協力していきます。

- (1) 運動会を始め、学校事業・PTA 事業に積極的に関わっていく。
- (2) 総合防災訓練への協力。
- (3) 歳末助け合い運動の実施。
- (4) 安心生活見守り支援事業への積極的協力。

2. 地域の安全を守る仕組みをつくろう！（安全部）

- (1) 市原市「避難所運営訓練」計画・実施（南小学校会場）への取組
- (2) 南小における防災・防犯関連行事の地域・学校連携対応
- (3) 5町会防災関係担当者の顔合わせと情報交換
- (4) 各町会に適応した「安否確認シート」の作成推進
- (5) 南小学校「防災教室」展示内容の充実と活用推進

3. ネットワーク活動推進のために！（総務部）

- (1) 会員相互の連携・協働を深める
研修会、親睦会の頻度を増やす（2～3回）
27年度研修会は、28年1月19日（火）に決定した（市バス確保のため）
- (2) 地域情報を共有するために
広報誌「みなみかぜ」の内容充実（⇒編集グループを）

- (3) 先生、保護者及び学校支援ボランティア等との交流を
意見交換会等の開催によって、顔の見える関係づくり
- (4) 活動のレベルアップのために
防災・防犯、福祉活動等の研修や講習に積極的に参加し、個人の能力アップを図
ろう（講習費・・・NW 負担）

4. 「安心生活見守り支援事業」の取組について

- (1) 誰もが「安心して暮らせる（生活の不安を減少する）」ために
今年度から「安心訪問員による見守り活動」を開始する。
⇒人の繋がりを創る:対象者～私たち NW 会員～福祉専門家など(コーディネート)
- (2) 当面の推進（体制など）
当初は「役員会」において、「地域ニーズの把握」、「活動方法の設定」、「訪問員の
研修・養成」等について検討し、出来るだけ早急に本格的な見守り活動を始める。